
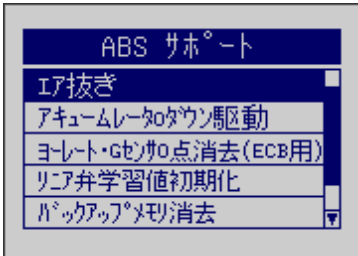
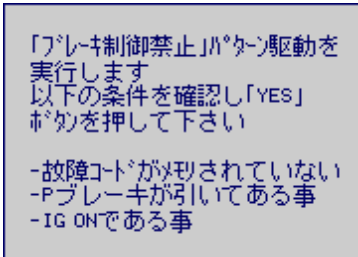
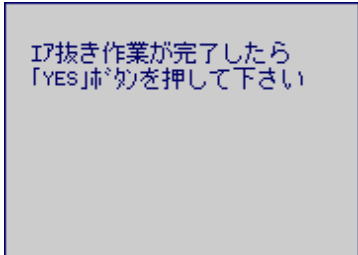


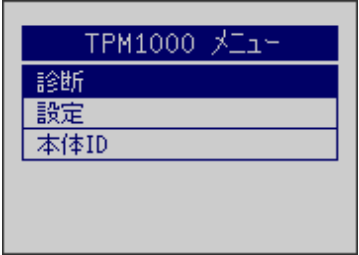

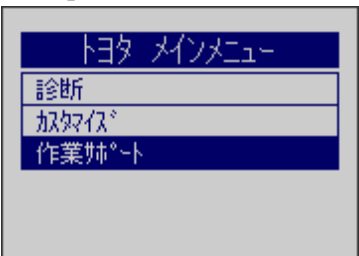
# TPM1000 トヨタ診断ソフト

## プリウスの ECB エア抜き方法 (NHW20 型系)

- 注意 -

- ・エア抜き実施中はシフトパープレンジでパーキングブレーキを効かせた状態で作業を行います。
- ・エア抜き実施中はブレーキフルードをリザーバの MIN-MAX ラインの間を保つよう補充しながら行います。
- ・フルード缶はリザーバ注入口にたてないようにして下さい。
- ・エア抜き実施中にアキュムレータ圧低下によりブザーが作動する場合がありますが、作業はそのまま続行します。
- ・エア抜きを行うと圧力セン異常などの故障コードを記憶する場合がありますが、その場合エア抜き完了後故障コード消去を行います。

	 <p>作業レポート</p> <p>TCCS/AT</p> <p>ABS/VSC</p> <p>HV</p> <p>電池</p>
7.	<p>[ エア抜き ] を選択します。</p>  <p>ABS サポート</p> <p>エア抜き</p> <p>アキュムレータ圧低下駆動</p> <p>ヨーレート・セン加減消去(ECB用)</p> <p>リア弁学習値初期化</p> <p>バックアップメモ消去</p>
8.	<p>注意事項を確認し、[ YES ] ボタンを押して実行します。</p>  <p>「ブレーキ制御禁止」ボタン駆動を実行します 以下の条件を確認し「YES」ボタンを押して下さい</p> <p>-故障コードがリセットされていない -Pブレーキが引いてある事 -IG ONである事</p>
9.	<p>この画面表示中に、エア抜き作業をおこなって下さい。</p>  <p>エア抜き作業が完了したら「YES」ボタンを押して下さい</p>
<p>- 参考 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントブレーキは、通常通りのエア抜き（ブレーキパダルをペダリング、フロントブレーキシリンダ RH および LH のブリーダプラグよりエア抜き）を行います。</li> <li>・リアブレーキは、ブレーキパダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびリフト駆動中にリアブレーキシリンダ LH および RH のブリーダプラグからエア抜きを行います。</li> </ul>	
10.	<p>エア抜き作業が完了したら [ YES ] ボタンを押して、[ ABS サポート ] 画面に戻ります。</p>
11.	<p>[ NO ] ボタンを押して、[ トヨタメインメニュー ] まで戻ります。</p>
12.	<p>イグニッションスイッチを OFF にします。</p>
13.	<p>TPM1000 を車両から外します。</p>

1.	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM1000 を車両に接続します。</p>
2.	<p>イグニッションスイッチを ON にします。（ブレーキパダルを踏まずに、プッシュスタートスイッチを 2 回押します）</p>
3.	<p>[ 診断 ] を選択します。</p>  <p>TPM1000 メニュー</p> <p>診断</p> <p>設定</p> <p>本体ID</p>
4.	<p>[ TOYOTA ] を選択します。</p>  <p>メーカー選択</p> <p>TOYOTA NISSAN</p> <p>HONDA MITSUBISHI</p> <p>SUZUKI DAIHATSU</p> <p>MAZDA SUBARU</p> <p>トヨタ診断ソフト</p>
5.	<p>[ 作業レポート ] を選択します。</p>  <p>トヨタ メインメニュー</p> <p>診断</p> <p>加減速</p> <p>作業レポート</p>
6.	<p>[ ABS/VSC ] を選択します。</p>